

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年通補版Ver.2 (BPV/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大和駅東側第4地区第一種市街地再開発事業	階数	地上6F地下1階
建設地	大和市大和南一丁目1156番、1157番	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、学校、集会所等	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2016年7月 竣工	評価の実施日	2016年8月1日
敷地面積	9,378 m ²	作成者	株式会社佐藤総合計画・清水建設株式会社 設計共同企業体
建築面積	7,427 m ²	確認日	2016年8月1日
延床面積	26,003 m ²	確認者	株式会社佐藤総合計画



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 78%

③上記+②以外の 78%

④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.6

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
音環境: 4.4	機能性: 4.1	生物環境: 4.0
温熱環境: 3.2	耐用性: 3.0	まちなみ: 4.0
光・視環境: 3.4	対応性: 3.3	地域性・: 3.5
空気質環境: 3.7		

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物の: 3.0	水資源: 3.8	地球温暖化: 3.8
自然エネ: 3.5	非再生材料の: 3.4	地域環境: 3.1
設備システ: 5.0	汚染物質: 3.0	周辺環境: 3.5
効率的: 3.0		

3 設計上の配慮事項

総合	その他
人を育み、未来へと継承される場「大和の丘」をつくる。	庇、外装ルーバーの設置。
Q1 室内環境 メインホール、サブホール等は防振遮音構造により遮音性能を高める計画とする。	Q2 サービス性能 インテリアベースにより図書館、メインホール、サブホール、エントランスホールの内装、照明計画の検討を行った。
Q3 室外環境(敷地内) 屋上緑化を含め、緑の質・量を高めた計画とする。プロムナード側は壇状にセットバックした構成とし、まちなみとの調和を図る。	LR1 エネルギー 太陽光発電の設置。高効率熱源機器の採用。
LR2 資源・マテリアル 雨水利用。節水器具の利用。	LR3 敷地外環境 風環境への影響の事前調査の実施。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される